

# すいせん



発行者 須崎協議会 文化厚生部  
下田市須崎一七九番地  
須崎漁民会館内  
電話 0558(22)8056

題字: 梅田弥祐先生

## 市制施行50周年祝

下田市は1月14日、市制施行50周年記念式典を市民文化会館で開催した。伊豆地区各町の市長、議長、議員、市内各町区長、国會議員、県議員ら来賓約200人を迎え、次代を担う人材育成事業「下田グローバルCTVプロジェクト」の開始を宣言。

小中学生作文コンクール表彰、御用邸所在地友好都市協定締結、国土交通省より「みなとオアシス下田」登録なども行い50年の節目を祝った。式典は、オープニングで下田高校吹奏楽部が演奏を披露し出席者を歓迎した。式辞で松本市長は決意を表明。グローバルCTVプロジェクトを宣言した。

## 御用邸所在3市町が協定

御用邸を有する下田中・栃木県那須町、神奈川県葉山町はこの市制施行50周年記念式典の席上、御用邸所在地友好都市協定を締結した。

松本市長、那須町の平山町長、葉山町の山梨町長が協定書に署名し文化、観光、防災等連携していく事を申し合合った。

## 浜崎小の交通安全施設等要望に 県下田土木事務所から回答

①道路標識・路面標示の設置について  
・通過車両の速度超過抑制を促す路面標示を行ないます。

・県道須崎柿崎線の柿崎交差点から浜崎小学校入口までの間で、外側線が消えている、或いは消えかかっている部分について、令和3年度中に外側線の引き直しを行ないます。

②グリーンベルトの設置について  
・県道須崎柿崎線の歩道未整備区間の大部分は外側線の外側に側溝が整備されており、グリーンベルトの設置が困難な部分が多い事から、代替措置として令和3年度中に外側線の車道側に減速マーク(占線)を設置し、通過車両の減速を促します。

③横断歩道照明の設置について  
・柿崎交差点の交通島へ渡る横断歩道に対する照明灯(1基)の設置に向け、令和4年度予算を要望しました。

## 甲種漁港施設口用の更新手続き

この上利用物件はR4年3/31で期間が満了する為下田中とR7年まで3年間の更新手続きを行ないました。

上利用物件 須崎西テ岡1709-1  
①須崎漁民会館  
②揚子板  
③農林水産物加工施設  
冬の磯海苔漁の口開け  
この寒い時期に漁業区民が待っていた磯海苔漁が1/21(金)に解禁しました。当日は晴れ時々曇りで穏やかな天候でしたが、磯は若干の波があったようです。夕方時分になると道路に面した石垣には中海苔や青のり等が立てられていた。

3月の津波避難訓練は中止  
毎年実施の津波避難訓練(3/6)は須崎地区は中止する事となりました。現在下田中もコロナ感染が拡大していますので区民の安全を考慮中止する。但し各家庭では有事における避難路などしっかりと確認と相談をして下さい。

## 自然界の脅威・水仙まつり報告

区長代理 森田 学(そばや隠居)

1. 自然界の脅威  
小正月の15日午後1時過ぎ(日本時間)に南太平洋トンガ沖で起きた海底火山噴火は8千キロ離れた日本に予期せぬ影響をもたらしました。この火山噴火は1000年に一度あるかないかの巨大火山噴火だそうす。火山噴火が発生した当初、気象庁は「津波による被害の心配はない」と発表しましたが、その後潮位の上昇が観測され、日付が変わった16日(日)の深夜、市の緊急サイレンが鳴り、「何事があったのか?」と深い眠りから目を覚ました方々も多かったと思えます。トンガのように遠く離れた場所の海底火山噴火でさえ日本に影響を及ぼしました。日本に到達した津波の高さは最大1.2mを記録しました。下田湾でも30cmほどの潮位の変化が観測され、テレビでは波が稲生沢川河口を逆上していく様子が放映されました。また、高知県や徳島県では約30隻の漁船が転覆するなどの被害がありました。この海底火山噴火は令和元年7月13日に起こった伊東沖海底火山噴火を思い出させました。そしてこの未曾有の噴火により気候への影響が懸念されるそうです。

例えば、地球全体の平均気温が0.5度程度下がりが日照不足で冷夏となり、夏野菜や米の生産量が減少するなどの影響が考えられるそうです。また、昨年の8月に発生した小笠原諸島周辺で起きた海底火山に由来すると考えられる軽石の漂流や漂着は船舶の航行、漁業に様々な影響を与えました。日本列島周辺の海底火山が噴火すれば、甚大な被害が予測されます。こうした予測困難な自然災害に対して、地域で様々な施策を考え、その施策に対して地域住民との協働が必須であることを感じます。

## 2. 水仙まつり報告

コロナ感染対策を万全にして水仙まつりが開催されましたが、1月中旬頃から全国的にオミクロン株感染が拡大し始め開催継続できるか心配しましたが、最後まで実施することができました。三ヶ日と三連休は天候にも恵まれ多くの来訪者が爪木崎の風景を楽しみました。しかし、16日(日)はトンガ沖海底火山噴火による津波注意報発令により、浜や水仙畑など海岸への立ち入りと下田太鼓実演、甘酒のサービスは中止となりました。池之段着味噌のサービスは駐車場横の売店「なみ」さんの店先をお借りして実施しました。このサービスは、期間中4回実施しましたが、大好評で200食強用意した着味噌は開始後20分ほどで終了しました。来訪者の方々から様々な声を聞くことができたのでその一部を紹介します。

①駐車料金が昨年より安くなっているのは嬉しかった。  
②駐車場の係員の丁寧な対応は感じが良い。  
③検温チェックはコロナ対策をしっかりと行っていることなので良い。  
④数年ぶりの再来だけど、浜に降りる左側斜面は竹が増え水仙が減ったようで少し残念だ。今以上に甘い香りが漂っていた。  
⑤この透き通った紺碧の海と灯台、水仙の風景が良くて、毎年爪木崎に来る。この自然は守ってほしい。  
⑥アロエの赤い花と水仙のコントラストは良いと思うがアロエの方が少し目立つような気がする。  
⑦球根付き水仙の花が手ごろな値段で購入できるとありがたい。  
水仙まつり開始から約1ヶ月間の駐車台数は9000台ほどでした。(昨年より若干増加)今後も水仙まつりを継続していくためには色々な課題もあるように思います。  
より実りある水仙まつりを開催するために、下田市(観光交流課)、下田観光協会と須崎区が協力し、課題を解決していく必要があると思います。最後に水仙まつりの準備、浜のボランティア清掃に協力して頂いた区民の皆様にお礼申し上げます。

## 1月の実施行事

- 1日(土) 元旦
- 2日(日) 船主会船祈祷及び船主総会
- 5日(水) 古着回収
- 6日(木) 浜崎小・東中学始業式
- 7日(金) 回覧日
- 8日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 9日(日) いけんだ煮みそサービス
- 10日(月) 成人の日
- 11日(火) リサイクル分別収集
- 13日(木) 区協議会定例会
- 14日(金) どんと焼き(子供会) 延期
- 15日(土) どんと焼き点火/夕方撤去
- 16日(日) いけんだ煮みそサービス
- 19日(水) わらいの輪/古着回収
- 20日(木) 自主防災会連絡会(文化会館)
- 22日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 23日(日) いけんだ煮みそサービス
- 25日(火) リサイクル分別収集
- 31日(月) 爪木崎水仙まつり最終日

## 2月の予定行事

- 2日(水) 古着回収
- 4日(金) 回覧日
- 5日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 8日(火) わらいの輪 中止
- 10日(木) 初午祭(両神社)
- 11日(金) 建国記念の日
- 16日(水) 古着回収
- 18日(金) 回覧日
- 19日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 22日(火) リサイクル分別収集
- 23日(水) 天皇誕生日
- 28日(月) 須崎区協議会出納閉鎖

## 3月の予定行事

- 2日(水) 古着回収/財産区議会
- 4日(金) 回覧日
- 5日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 6日(日) わらいの輪
- 8日(火) 市内津波避難訓練 中止
- 10日(木) リサイクル分別収集
- 16日(水) 古着回収
- 18日(金) 回覧日
- 19日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 21日(月) 春分の日
- 23日(水) リサイクル分別収集
- 27日(日) 須崎区協議会総会

近況報告

1、恵比寿島とお台場の整備工事について

恵比寿島は頂上周辺の雑木処理が終了し、所々から海が見られるようになりまし。見晴台付近から下に降りる周辺の防護柵はこれから設置される予定です。お台場の整備は遊歩道となる周辺の伐採が終わり、小型重機を入れて道を作成中です。どちらの工事も3月中旬に完成予定です。

2、須崎遊歩道について

「すいせん12月号」でもお知らせしましたが、遊歩道は、現在でも県より許可が出ていませんので通行禁止になっています。この状況を知った県議会議員森竹治郎氏が

遊歩道の安全性と通行禁止解除に向けての調査を県に依頼してくださいました。須崎区としては、できるだけ早く安全に遊歩道の通行ができることを祈ります。

3、爪木崎漂着物処理について

芦根の浜周辺の漂着物(流木等)の処理を行っています。簡単に重機が入れなかったため、流木等が大量に漂着し景観が悪くなっています。3月中旬に終了予定です。一部立ち入り禁止になっていますのでご注意ください。

ご意見募集

の望問へ  
ご質問  
など  
ご意見  
ご提言  
市、区、ご

身近な話題

「わが家の自慢」  
何でも結構です  
お寄せ下さい。

須崎協議会事務所

須崎で見られる野鳥

丑嶋 久雄

10、オオバン (大鵞)

小白浜に「嘴が白く体全体が黒い見慣れない鳥がいる」という話を聞いて見に行きました。湾内に二羽のそれらしき鳥がゆつくりと、時々水に潜ったりしながら泳いでいました。スマホのカメラを向けて調べたところ、「オオバン」であることが分かりました。「ヤンバルクイナ」でおなじみの「クイナ」の仲間、脚には緑青色で木の葉形状の水かき(弁足)があるため、泳ぎは得意です。潜って主に水生植物を食べますが魚類、昆虫、軟体動物なども食べるようです。時々「キユイツ」と鳴きます。

オオバンは世界中に分布し、北半球では冬になると東南アジアやアラビア半島などへ南下して越冬する渡り鳥です。

日本では夏季に北海道、本州、九州で繁殖し、冬季になると本州以南で越冬します(冬鳥)。しかし、一部は湖沼、湿原など、住み慣れた場所に留まって住み続けます(留鳥)。どうやら小白浜はオオバンに気に入られたようですね。



オオバンは「幸せの黒い鳥」と呼ばれるようです。これは潜水上手なオオバンが、水草のエサを鴨などほかの鳥に取られても、怒らないからだとか。小白浜に永く住み着いて幸せをもたらしてくれるといいですね。

新型コロナを乗り越え、一人でも多くの方に  
見ていただきたい故郷の美しい水仙

浜崎小学校校長 菊池 正仁

爪木崎で水仙まつりが行われています。美しく変化に富んだ海を見ながら、早春の下田を楽しまれた方もたくさんいたかと思えます。今年は、草刈り・剪定が得意(趣味に近い)かもしれません。な教頭が赴任して、学校周辺の整備が進みました。その間、保護者の方や地域の方からもお力添えをいただき、とてもすっきりとできました。寒くなる前に、次の春を見越してもう一度草刈りをしようか、という話になっていたのですが、用務員さんからストップがかかりました。理由を聞いてみると「水仙があるから」ということでした。それから数ヶ月して、水仙が咲き始めました。今年も道路側もかなり刈り込んであったので、今まで隠れて見えなかった水仙もよく見えて、「これだけたくさんあったのか。」「こんな風に植えてあったのか。」「ということがよくわかりました。これだけ並んで咲いていけば観光客の人たちも気づいてくれたことでしょう。爪木崎に向かう途中で、水仙があふれる街の雰囲気を感取ってもらえるのではないかと、一人ですんなりと考えています。

この文を書くにあたって、少しは「水仙まつり」のことも知っておかなくてはと思い、調べてみることにしました。

日本の各地で水仙のイベントがあるようですが、「水仙まつり」で検索してみると、爪木崎の水仙まつりがずらりと並びます。これだけ広く知れ渡っているのはさすがだなと改めて感心しました。自分が子供の頃は美しき香り高い水仙でいっぱいでしたが、それ以前から大切に守られてきた須崎区の皆様には頭が下がります。

東京の葛西臨海公園でも水仙まつりがあるようで、五万球、二〇万本の水仙があるようですが、下田は三〇〇万本ということ、さらに地区への誇りを高めました。都内に住む方も爪木崎まで足を運んでいただければ、都内では味わえない感動が得られるのではないかと思います。しかし、新型コロナウイルスは形を変え、拡大を続けています。一日も早く、日本中、世界中の方が何の気兼ねもなく自由に行動できる日が来ることを願うばかりです。

本校でも、急速な感染拡大に備えて、もう一度対策の内容や取組を全職員で検討し、実施に移しています。子供たちだけでなく、ご家庭や地域の皆さまにもご不便をおかけすることが多くなってきましたが、思いやりの心をもってお互いを守るといふ共助の心で、この難局を乗り切っていきたいと思っています。ご協力をよろしくお願いいたします。

1月の学校の様子



1/13 全校遊び (児童会活動)

1/19 避難訓練 (火災・スモーク体験)



12/24 乗り物教室 1・2年生

1月のニュース

一月の捕獲情報

- 7日(金) 括り農 1頭 900pxメス 法田寺跡地の周辺付近にて
- 10日(月) 括り農 1頭 300pxメス 五平屋近くの太田屋の畑にて
- 14日(金) 括り農 1頭 300pxメス 五平屋近くの太田屋の畑にて

お悔やみ申し上げます

一月

- 3日 山本 清恵さん 85歳 (高口屋)
- 11日 吉野 秀子さん 91歳 (吉野屋)
- 14日 浅野 和久さん 56歳 (久佐)